

実践記録

151

シリーズ

団塊世代の知識・経験を地域社会に還元するためのきっかけづくり ～団塊世代等社会参加促進モデル事業について～

三条市 市民部生涯学習課

1 はじめに ～「団塊の世代」とは～

「団塊の世代」とは1949年までに生まれた世代であり、作家の堺屋太一が1976年に発表した小説『団塊の世代』で、この世代の特異な人口構成が日本社会に大きな影響を及ぼすことが指摘されてから一般的な用語として広まりました。戦後60余年が経過した今日、日本の高度成長を支えてきた「団塊の世代」が定年退職期を迎えるなど、これまで企業・経済活動の核となって活躍した世代が地域社会に帰ってきています。

2 事業に取り組むきっかけ

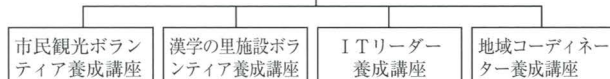
三条市では、長年、企業活動等で活躍されるなど人生経験豊かな「団塊の世代」が地域社会に戻る機会を好機と捉え、市が抱えている課題や地域におけるリーダー不足といった課題を解決する一つの方策として、「団塊の世代」の社会参加と併せて市民の学習活動に還元していくことを基本理念とし、昨年度、新潟県教育委員会の「団塊世代等社会参加促進モデル事業」として取り組みました。

3 事業の全体スキーム

本事業は①市民観光ボランティア養成講座、②漢学の里施設ボランティア養成講座、③ITリーダー養成講座、④地域コーディネーター養成講座の4講座から構成され、これからの地域社会が求めるボランティア活動やパソコンの指導技術など、受講生自らが持つ資質や能力を講座の受講を通して高め、いくとともに、新潟県内の先進事例からも学ぶなどスキルアップのためのメニューを揃えました。

「団塊の世代」の社会参加促進+学びの成果の社会還元!

団塊世代等社会参加促進事業 = 新潟県



4 各講座の概要

(1) 市民観光ボランティア養成講座

江戸時代の末に活躍した木彫りの名工石川雲蝶は、県内各地に傑作を残しており、当市でも法華宗総本山本成寺や石動神社にその作品を見ることができます。この価値ある彫刻を通じて地域の魅力を高める市民観光ボランティアを養成する講座です。

(2) 漢学の里施設ボランティア養成講座

三条市は、「大漢和辞典」の編纂者であり、漢

学における世界的権威であった名誉市民諸橋轍次博士の出身地であり、博士の業績を後世に伝え顕彰する「諸橋轍次記念館」があります。来館者に博士の業績はもちろん、温かい人柄やエピソードなどを伝える”伝道師”を養成する講座です。

(3) ITリーダー養成講座

一人でも多くの市民からパソコンに親しめるように公民館では初心者パソコン講座を開催しています。初心者でも分かりやすく操作ができるよう指導できる市民講師を養成する講座です。

(4) 地域コーディネーター養成講座

学校からの要望に応じて地域の人材と学校とのマッチングをしたり、また自らが主体となって活動できるスキルを学ぶなど、地域における人材を養成する講座です。

5 講座終了後の活動

4つの講座終了後、それぞれの講座修了生は石川雲蝶ガイドイベントを企画・運営をしたり、諸橋轍次記念館の来館者へのガイド、また、各公民館で実施するパソコン講座で講師を務めたり、地域コーディネーターは小・中学校総合学習における講師紹介を行うなど地道に活動を続けています。



修了生(ボランティアガイド)による案内



公民館パソコン講習で活躍する修了生

6 まとめ

今後とも少子高齢社会が進み、自治体やコミュニティも効率的で合理的な地域経営が求められています。「団塊の世代」が培ってきた知識・経験を一つの経営資源と捉え、“元気なシニア”が生き生きと活躍できる機会を創出し、併せて市民も学ぶことのできる「知の循環型社会」を実現することが、自治体と市民との協働につながり、ひいてはこれからの生涯学習・公民館講座を運営していく上での重要な鍵となるのではないのでしょうか。

三条市市民部生涯学習課・公民館
〒955-8686 三条市旭町2-3-1
Tel 0256-34-5511 Fax 0256-32-8391